

備前市施策評価シート

(平成19年度事業)

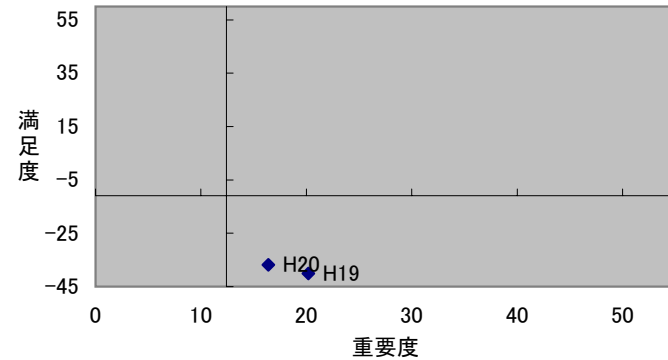
施策名 (小項目)	勤労者福祉	コード	作成者	役職	商工観光課長
		04-02-05	氏名	横山雅一	
			電話	64-1832 内線 271	

備前市総合計画の内容から記載する

政策の体系	大項目(基本目標)	もてなしの心とたくましさのあるまちづくり
	中項目(基本施策)	起業と創造が支えるまちづくり
① 施策の対象と目的 (誰のために、何のために)	市内在住の勤労者に対し、雇用の安定と勤労者福祉の向上を図る。	
② 現況と課題 (総合計画から現在の問題点を抽出)	雇用の安定と勤労者福祉の向上、本格的な高齢社会における定年延長、高齢者の雇用就業対策、障害者雇用対策、女性就業者が働きやすい職場環境の整備等が求められています。また、余暇を快適に過ごすことができるよう、充実した余暇利用のための福利厚生施設を充実する必要があります。	
③ 施策展開 (総合計画の施策部分から、実施する施策を抽出)	<ul style="list-style-type: none"> <li>福利厚生の充実</li> <li>高年齢者職業相談室などの充実</li> <li>職場環境の整備</li> </ul>	

④ 市民意識調査による施策の重要度・満足度

調査年度	H19	H20	H21
重要度(%)	20.2	16.4	
満足度(%)	-40.1	-36.9	



高 ↑ 満足度 ↓ 低	<p>&lt;見直し領域&gt; その施策や事業が必要か否かの検討が必要</p>	<p>&lt;維持領域&gt; 現状の方向を継続</p>
平均		
	<p>&lt;検討領域&gt; その施策や事業の存続の検討が必要</p>	<p>&lt;強化領域&gt; 内容等を見直し、市民満足度を高める事業を行う</p>
	低 ←	重要度 → 高

調査結果に対するコメント、市民の反応等	雇用対策の必要性を求める意見が多い。企業誘致を積極的に行うと共に、ハローワーク、県等関係機関と連携を図りながら、積極的な雇用対策に取り組んでいきたい。また、生活環境においても、生活がしやすい、働きやすい環境整備に取り組んでいきたい。
調査対象でない施策の場合は、市民の反応等	

⑤ 施策成果指標(基本目標・基本施策・施策意図から設定)

施策に対する成果指標名	単位	過年度実績			目標値			ベンチマーク	指標の説明
		H17	H18	H19	H20	H23	H28		
1 福利施設の利用者数(福利厚生施設の充実)	目標	人	80,000	80,000	80,000	81,000	82,000	83,000	リフレセンターびぜん、勤労者センター、勤労青少年ホーム利用者数
	実績	人	79,215	78,773	66,594				
	達成率	%	99.0	98.5	83.2				
2 就業者数(高年齢者職業相談室の充実)	目標	人	120	120	120	120	130	130	紹介により就職した人数
	実績	人	113	127	144				
	達成率	%	94.2	105.8	120.0				
3 研修会等の開催(職場環境の整備)	目標	回	170	170	170	170	180	180	障害者雇用等に関する研修会開催数
	実績	回	161	168	135				
	達成率	%	94.7	98.8	79.4				
4	目標								
	実績								
	達成率	%							

⑥ 施策構成事務事業の評価

施策を構成する事務事業	事務事業評価結果 A~E (高~低)	細事業	事業分類	事業費等(単位:千円,人)									H20 当初予算
				H17			H18			H19			
				直接事業費	人件費	人工数	直接事業費	人件費	人工数	直接事業費	人件費	人工数	
1 勤労者施設管理運営事業	D	勤労青少年ホーム管理運営事業	施設維持管理				7,310	1,081	0.12	☆	\$	7,230	
		リフレセンターびぜん管理運営事業	施設維持管理	37,542	793	0.10	27,027	1,252	0.13	☆☆☆	\$\$\$	13,835	
		勤労者センター管理運営事業	施設維持管理				7,173	0	0.00	☆☆☆	\$\$\$	5,862	
2 勤労者融資事業	D	勤労者融資原資預託事業	その他単市	80,000	325	0.04	80,000	664	0.07	☆☆☆	\$\$\$	50,000	
3 産業功労者表彰事業	C	産業功労者表彰事業	その他単市	264	1,130	0.13	234	1,404	0.15	☆☆☆	\$\$\$	198	
4 労働団体支援事業	C	岡山県労働協会会費	単市補助給付	12			12			☆	\$	12	
		岡山県労働保険事務組合連合会会費	単市補助給付	10	468	0.06	10	563	0.06	☆	\$	10	
		建設労働組合補助金	単市補助給付	252			252			☆	\$	200	
		労働組合協議会補助金	単市補助給付	1,300			1,000			☆☆	\$\$	550	
5 働く婦人の家管理運営事業	C	働く婦人の家管理運営事業	単市補助給付	39			32			☆☆	\$\$	46	
		働く婦人の家維持管理事業	単市補助給付	52	4,520	0.60	62	1,965	0.25	☆☆	\$\$	92	
		各種講座開設事業	単市補助給付	107			39			☆☆	\$\$	60	
6 高齢者職業相談事業	C	高齢者職業相談事業	内部管理	0	204	0.02	0	0	0.03	☆☆	人件費のみ	0	
7 職場環境整備事業	D	県雇用開発協会負担金	単市補助給付	30			30			☆	\$\$	30	
		21世紀職業財団会費	単市補助給付	50	372	0.05	50	386	0.04	☆	\$\$	50	
この施策に費やした資源(単位:千円,人)				H17	H18	H19	H20当初(直接事業費)						
				119,658	7,812	1.00	108,748	6,234	0.73	100,091	2,325	0.26	78,175

⑦ ⑥以外で、目標達成に必要な新規事業及び連携させる他部署の事業

実施主体	新規に必要な事業・連携が必要な事業	説明・期待される効果

⑧ 施策の評価

項目	5:非常に高い 4:高い 3:どちらともいえない 2:低い 1:非常に低い			
	一次評価		二次評価	
	評価	判断理由	評価	判断理由
1 目的達成度(中・長期目標に対する)	3	福利施設利用者は、利用団体の減少により減となっており、目標達成は難しいと考える。	2	目標値の見直しが必要であり、目標達成は困難。
2 事業構成の適当性	3	事業構成は適当である。高齢者、障害者、女性等の雇用については、避けて通れない問題であり、粘り強く事業展開する必要が適当である。	3	同左
3 施策の有効性(評価年度の目標達成)	3	高齢者の就職者数以外は目標を下回っている。原因追求と、目標の見直しが必要と考える。	2	利用者数は年々減少しており、目標は達成していないが、施策としては有効。
担当への指示(今後の展開・協働の可能性・事業見直し・新規事業創出等)	ハローワーク及び高齢者職業相談所との連携を密にすること。勤労青少年ホームを社会福祉協議会へ移管することについて検討すること。労働組合協議会の統合について検討すること(備前と日生)		同左	
二次評価者コメント	企業誘致の推進、雇用の拡大、福利厚生施設の充実、余暇を快適に過ごせるようなまちづくりができれば理想と考えるが、費用対効果も併せて考えることが必要である。		基本施策への貢献度	
役職 産業部長 氏名 玉垣 和志	3中立			